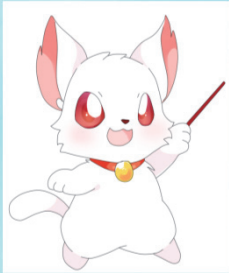


長野市公共施設マネジメント ニュース・レター Vol. 1



創刊号

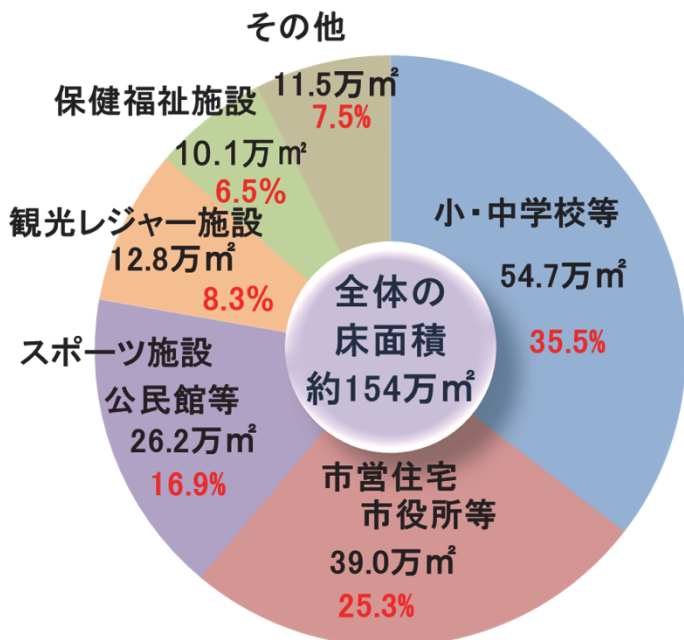
平成28年5月 長野市

さらなる活気あるまちづくりや市民生活の質の向上をめざして、施設保有量の最適化や長寿命化など、保有する公共施設を最適に維持管理し有効活用を図る取り組みである「公共施設マネジメント」を推進しています。

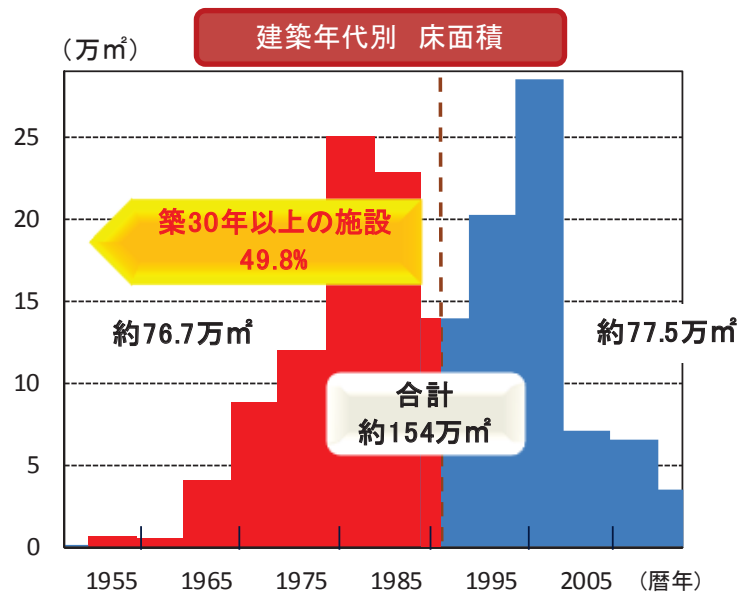
市民の皆さまのご理解をいただきながら進めていくため、公共施設マネジメントに関する情報をお知らせする「ニュース・レター」を創刊しました。これからも随時お知らせしますので、ぜひ手にとってご覧ください。

公共施設全体の床面積は154万㎡

築30年以上経過した老朽施設が50%



(資料)公共施設白書より

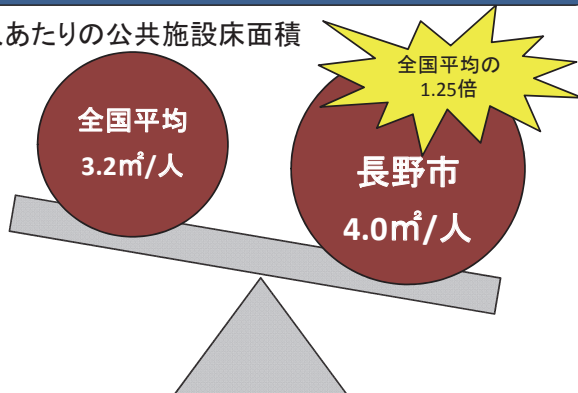


(資料)公共施設白書より

- ◆ 長野市の公共施設(建物)全体の床面積は約154万㎡あり、東京ドーム33個分にもなります。
- ◆ 築30年以上経過の老朽化した建物が多いのは、昭和40～50年代の人口増加に対応するために多くの施設が整備されたためです。
- ◆ さらに平成10年の冬季オリンピック開催や平成の大合併などにより公共施設が増えました。

床面積は全国平均の1.25倍

人口一人あたりの公共施設床面積



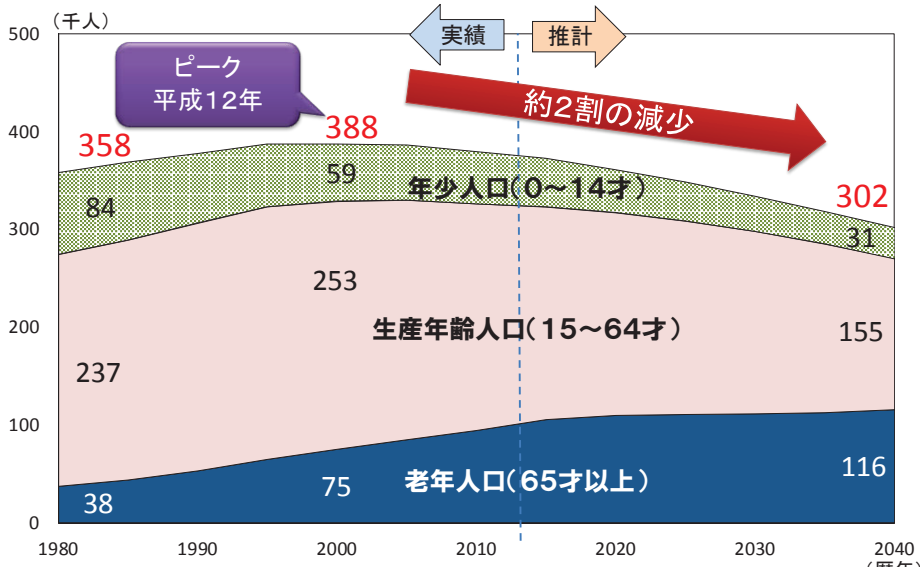
(注)長野市は平成25年4月1日、全国平均は平成24年3月時点の数値
(資料)公共施設白書より

ニャ!
建物も年をとるから、毎年、老朽化が進むんだ
古い施設が多いから、これから改修や更新にたくさん費用がかかるね

ミーコ
(長野家のネコ)



人口推計 2040年には 約20%減少



(資料)総務省『国勢調査』、国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来人口推計』

2010年(平成22年)から2040年(平成52年)の人口変化

- 年少人口 約2.3万人(42%)減少
- 生産年齢人口 約7.7万人(33%)減少
- 老年人口 約2.1万人(22%)増加

- ◆ 長野市の人口は、2000年(平成12年)の38.8万人をピークに人口減少時代に突入しています。
- ◆ 2010年(平成22年)と比べると、2040年(平成52年)には約8万人減少して約30.2万人になると見込まれています。また高齢化率(65歳以上高齢者人口が総人口に占める率)は、約25% から約38%に上昇する見込です。

平成28年に、市は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と、「人口ビジョン」を策定して、人口減少対策に取り組んでるんだ



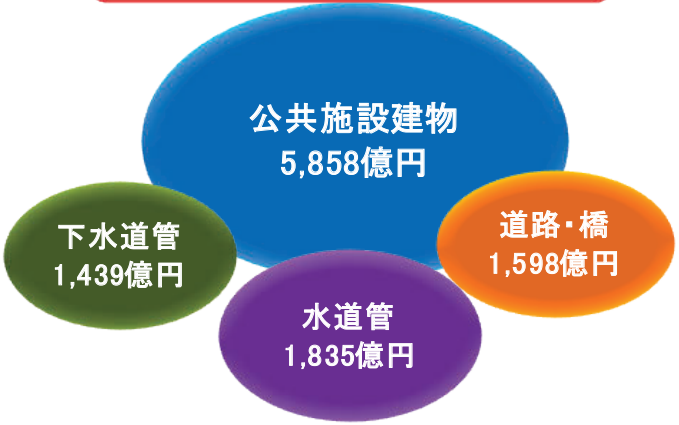
改修・更新費用は約1兆730億円

- ◆ 公共施設に係る投資的経費実績(費用)は、過去5年間で今後40年間を比べると、平均で約1.8倍の予算が必要になります。
- ◆ 公共施設に加え、道路、橋、上・下水道などのインフラ施設を含めると、改修(修理)や更新(建替え)にかかる費用は40年で約1兆730億円になると見込まれています。
- ◆ 人口減少や少子高齢化に伴い、今後も社会保障関連経費の増加や税収減少が見込まれる中、将来にわたり全ての施設を維持していくことは困難です。

道路や橋、上下水道などのインフラ施設も大切な施設だし、全ての施設を維持することは困難か…



今後40年間の改修・更新費用 総額 約1兆730億円

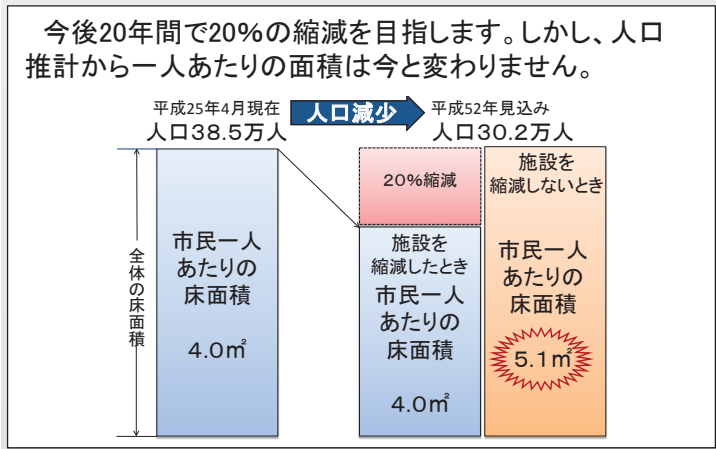


(資料)公共施設白書より

長野市では、平成27年7月に公共施設マネジメントの基本的な考え方や取り組みの方向性などを取りまとめた長野市公共施設マネジメント指針を策定しました。

指針に示す 四つの基本方針

I 施設総量の縮減と適正配置の実現



II 計画的な保全による長寿命化

建物の一生にかかる費用の縮減、長寿命化、耐震化の推進、基金創設など。
こわれたら直す維持管理から、計画的な予防保全に維持管理方法を転換します。

III 効果的・効率的な管理運営と資産活用

管理運営の効率化、受益者負担の適正化、遊休施設の利活用など。
利用者や稼働率が低い施設は、利用促進を図り、民間活力の活用や、施設利用者の利用料金も再検討します。

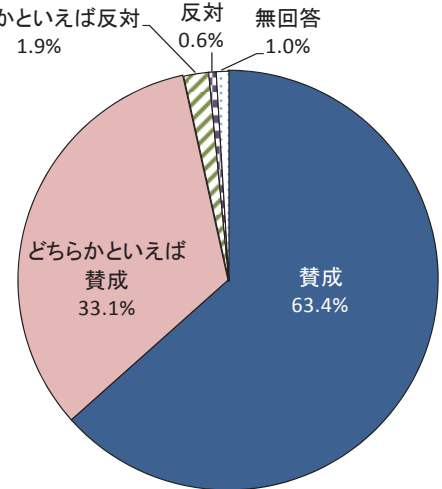
IV 全庁的な公共施設マネジメントの推進

庁内推進体制強化、財政との連動、施設情報の一元化、職員意識改革など。
全職員が縦割り意識を排除した全庁的なマネジメントを推進します。

基本方針を踏まえ、今後例外なくすべての施設について検討を進めますが、指針の中で各施設分野で重点的に検討すべき施設について、検討の方向性を示しています。

市民アンケート 96%が見直しに賛成

- ◆ 指針策定にあたり市民アンケートを実施し、約3,000人の方から回答をいただきました。
- ◆ Q: 公共施設の適正配置と規模の見直しが必要だと考えますがどう思われますか?との質問に対して
A: 賛成が 63.4%
どちらかといえば賛成が 33.1%
あわせて 95%以上の方が「賛成意見」となりました。



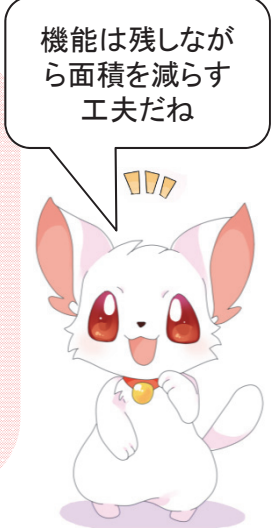
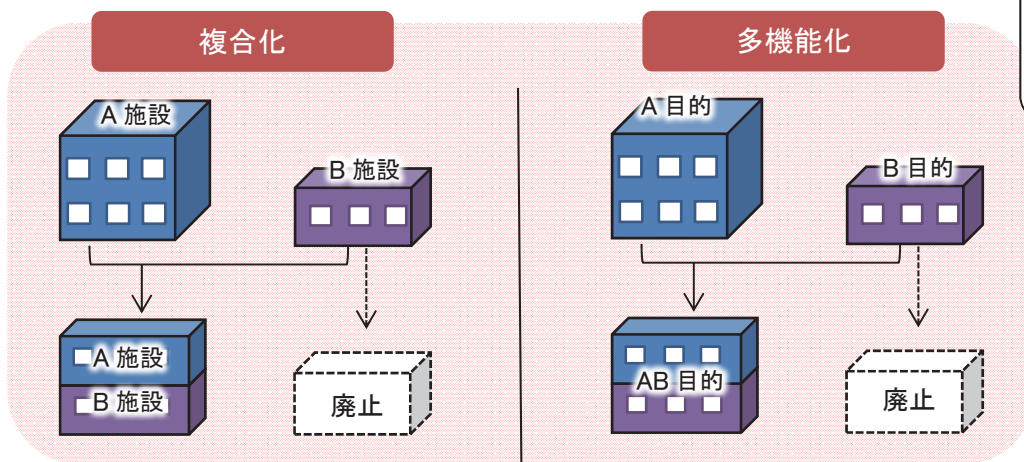
公共施設マネジメント、これからの主な取り組みを説明します。

地域特性等を踏まえた施設の再配置

- ◆ 人口減少や人口構成の変化による市民ニーズの質と量の変化が想定されます。
- ◆ コミュニティ活動の拠点機能を確保しつつ、これまでの一地区一施設といった考え方から脱却し、効果的・効率的な配置を検討します。
- ◆ まずは、今後10年間の取り組みを、第一次再配置計画として平成28年度中に策定します。

複合化で機能は維持しながら量を縮減

- ◆ これまで、一施設に一機能を持たせてきましたが、施設を複合化・多機能化することによって、玄関・廊下などの共有スペースや維持管理費の削減が可能になり、また、多世代交流や地域コミュニティの深化など新たな効果も期待できます。
- ◆ できるだけ施設の機能を残しつつ、複合化による集約を図りながら施設総量(床面積)の縮減を進めます。



官民連携で民間活力の活用を図る

- ◆ 厳しい財政の中、行政による対応には限界があるため、指定管理者制度やPFI※などの官民連携手法の導入により、多様な選択肢から効果的・効率的なサービスの提供方法を検討します。
- ◆ 民間施設と競合している分野では、行政が建物を保有せずに民間施設との連携を促進することも検討していきます。

※PFIとは、公共施設等の建設や維持管理・運営などを、民間の資金や経営能力・技術などを活用して行う手法のことです。

平成18年4月にオープンした温湯温泉『湯～ぱれあ』でPFI手法を用いています。



長野市公共施設マネジメント指針の基本理念

将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく



- ◆ 公共施設マネジメントについて詳しくは、長野市ホームページで行政管理課>「公共施設白書」「公共施設マネジメント指針」等をご覧ください。



長野市 総務部 行政管理課
公共施設マネジメント推進室

〒380-8512
長野市大字鶴賀緑町1613番地
Tel: 026-224-8402
Fax: 026-224-7964
E-mail: gyousei@city.nagano.lg.jp

- ◆ 挿入キャラクター等の作画は、長野俊英高等学校 漫画研究部の協力を得ています。